

## 橋本創生総合戦略 事業評価シート

事業名	高野山麓ツーリズムビューローDMO推進事業				
評価対象年度	平成29年度	橋本創生総合戦略 該当箇所	基本目標Ⅱ 橋本市への新しい人の流れをつくる		
事業実施年度	平成29年11月～				
事業の目的	地域観光戦略の一体的推進に向けた中核的な役割を担う観光プラットフォームとなるDMOを設立することで、地域における観光施設やイベントなどの情報を一元的に発信し、観光客への利便性を向上させるとともに、地域が持つ魅力を磨き上げ、旅行商品化し販売することで、地域内での滞在時間及び日数の増加を図り、国内外からの観光客を継続的・安定的に呼び込み、エリア内の宿泊施設や観光関連事業者はもとより、食品・流通などの幅広い事業者の収入増加を目指す。				
事業の内容	●広域の関係団体との連携強化を図り、観光・交流産業の発展に向けてのPR活動や誘客活動を推進し、新たな観光プログラムの開発に取り組む				
KPI(成果をはかる指標)	設定したKPI	①観光入込客数 ②宿泊者数 ③一人当たりの平均域内旅行消費額 ④EC販売およびネット販売等DMO会員の販売実績額			
	現状値(H28.4)	目標値(H30.3末)	実績値(H30.3末)	達成状況	備考
	①2,509,213人 ②114,583人 ③設定無し ④設定無し	①2,584,489人 ②118,020人 ③8,209円 ④0円	①2,713,125人 ②116,430人 ③9,525円 ④0円	①達成 ②未達成 ③達成 ④	
予算 (計画)	項目	金額(円)	決算 (実績)	項目	金額(円)
	1 地域活性化事業委託	1,150,000		⑫ 市内各地域で集客イベントの実施 地元農産品の軽トラによる出張販売 集客プロモーション実施	1,150,000
	2 観光案内及び地域特産品販売促進事業委託	3,316,000		⑯ DMO近隣エリア内での観光・イベント情報提供・案内 地域特産品の販売促進及び商品管理 大型ショッピングモール等での出張販売	3,358,746 (補助対象3,317,000)
	3 広域多言語パンフレット作成委託事業	1,000,000		⑰ 広域多言語パンフレット作成委託料	999,000
	総事業費額計	5,466,000		総支出額計	5,507,746
事業の実績	事業名	実績概要			評価
	1 地域活性化事業委託	地域住民と市外客との交流の場を作ることを目的とした「駅前にぎわいパフォーマンス、軽トラ市」をH30年2月と3月に開催。6の地元団体・店舗とコラボし、200人の集客を得た。			3
	2 観光案内及び地域特産品販売促進事業委託	1/12～14の3日間イオンりんくう泉南店において開催されたイオン和歌山フェアに6社の出展。DMOとしても5社の商品をPR販売。また、マンホールカード等の誘客ツールを活用し、SNSやチラシを通じて発信した。カード配布実績1,000枚。DMOが新たに旅行商品を構築販売するために必要なワークショップやアンケートの分析のための資料を作成し、研修を実施することで資質を向上させた。			3
	3 広域パンフレット作成委託事業	本市を含む高野山麓地域への訪問に関心のある層を対象に、魅力発信と具体的な旅行イメージを喚起するとともに潜在的な層にも併せて認知度向上、誘客、地域経済の活性化を図るため「はしもと広域観光パンフレット(10,000部)」を作成した。			3

事業の効果 についての 評価	評価	評価理由
	3 本事業は地方創生 に効果があった	平成29年10月31日にDMOを設立し、準備期間を経て本格稼働については平成30年4月からということになる。本市含む7市町村の事業エリアの活性化に期待できるDMOの設立に至ったことで地方創生に寄与したと一定の評価をしたい。
必要性につ いての評価	評価	評価理由
	2 見直し・改善して実 施	DMOの本格的な稼働が平成30年度からということもあり、移行することで、より広域的な視点で各事業を展開していく。基本統計分析等を活用し、実施内容について常に見直しを行いながら効果的に施策を推進していく。
目標(KPI) 達成・未達成 の要因	達成状況	達成・未達成の要因分析
	①達成 ②未達成 ③達成 ④	平成29年10月31日にDMOを設立し、本格稼働が平成30年4月からということから達成・未達成の分析は難しい。①の観光入込客数の増は本市単独の要因ではなく、橋本伊都広域での観光PRやイベント実施の結果によるものと考ええる。
今後の取り 組み	今後は時宜にあったPRを行っていくとともに、基本統計量分析等を活用し、効果的な商品管理、販売を行っていく。また統計を元に来訪者の属性等を把握、収集することで域内消費、地元への経済効果によりスポットを当て取り組みを継続していく。	
担当課	シティセールス推進課	

## 橋本創生総合戦略 外部評価シート

事業名	高野山麓ツーリズムビューローDMO推進事業
①事業の評価 (1か2に○を付けてください)	<input checked="" type="radio"/> 1 事業が総合戦略に掲げるKPI(重要業績評価指標)の達成に有効であった <input type="radio"/> 2 事業が総合戦略に掲げるKPI(重要業績評価指標)の達成に有効とは言えない
②評価の理由・意見	<p>KPIの項目を見るだけを見ると、観光入込客数250万人で、一人あたりの平均域内旅行消費額が8,209円であれば、200億円以上の売上げがあったことになる。宿泊客数と日帰り客数の割合とアンケートの割合の比率等を踏まえないと正確にならないので、このあたりは見直すべき。行政としてはDMOを単純な販促媒体として考えているわけではないですが、利用する側は単純な販促媒体と捉えるかもしれない。</p> <p>事業が平成29年11月開始となったばかりなので、この事業で観光客が増えたか、宿泊者が増えたか、消費額が増えたということはありませんので、KPIの達成に影響を与えているとは考えられない。</p> <p>ただ、今後、広域連携ということは非常に重要になってくるし、地域同士が手を結ぶことは本当にいいことであり、今回は事業の成果が生まれようのない時期に評価をしないといけないという形になっているので、「今後、有効に機能するのではないか」という期待を込めて、有効であったと考える。</p>
③今後の方針 (ア～エのいずれかに○を付けてください)	<input type="radio"/> ア 事業を更に発展・拡大させるべきである <input checked="" type="radio"/> イ 事業内容の見直し(改善)が必要である <input type="radio"/> ウ 特に見直しの必要はなく、このまま継続すべきである <input type="radio"/> エ 事業を中止すべきである
④③の理由	<p>地域活性化事業については、特定の何日かのみ賑わっても仕方がないので、高野山麓という名のとおり、高野山を取り囲むエリアでの取り組みをしてはどうか。</p> <p>まだ始まったばかりの事業で今このやり方すらいいのか悪いのかを判断する状況ではないのでは？この事業をしっかりと維持しながら改善すべきところは改善し、発展させるべきところは発展させるということで、「事業の見直し(改善)が必要である」とします。</p>